

孟蘭盆会

宗教法人太陽の会で8

月12日(土)に孟蘭盆会法
要が勤修されました。

孟蘭盆会とは、釈尊の弟

子である目連尊者の母が、仏法によって
餓鬼(飢えと渇きの苦しみ)の世界から救
われたことから起こったといわれています。
す。一般に「お盆」には先祖供養をする習
わしとなつていますが、浄土真宗では、
報恩感謝の意味で勤めます。

極楽浄土から我々に救いの手を差しの
べておられる阿弥陀如来さま、その救い
によって仏となられたご先祖さまのご縁
をうけて感謝の念を運び勤める法要です。
今年も多くのお客様と一緒に手を合わせ
ることができました。



人生の終末における医療と宗教について

残暑厳しい8月25日(金)に元医療法

人徳洲会新庄徳洲病院並びに瀬戸内徳洲
会病院の院長をご歴任されました高野良
裕先生並びに(株)健康ジャーナル代表取締役
役 高野達也様、医師万波廉介先生をお迎
えし、「人生の終末における医療と宗教に
ついて」の講演会を開催いたしました。高
齢社会を迎え、「終末」は誰にもいずれ訪
れる問題です。そこで医療と宗教の関わ
りを含めたお話をいただきました。

「宗教を持つ医師の集まりに参加した
時従来、宗教は非科学的という考え方が
一般的だったが、東日本大震災のころか
ら、流れが変化したように感じる。被災
地に大勢の宗教者が出向き、聴聞を行っ
た。人々の悩みに耳を傾ける臨床宗教師
という資格があつてもよいのではないか

と思った。」

「死の間際のQOL (クオリティ・オブ・
ライフ＝人生の質)を見直す時期を迎え
ているのではないか。医者として臨終の
場に立ち会うことが多かったが、医師や
看護師は思うように患者やその家族に寄
り添うことができないこともある。多忙
な医療従事者だけでなく、臨床宗教師の
ような人の存在が求められていると思う。
医療の現場に宗教観を取り入れるため、
問題定義を行っていきたい。」

現在、日本には七万七〇〇〇の寺院が
あると言われ、その数はコンビニより多
い数ですが、年々減少傾向にあります。
地方の過疎化が進めば、お寺の維持も難
しいのが現状です。医療が寺など昔から
存在する施設と連携すべきではないかと
お話いただきました。自身の終末を穏
やかに迎える為にも心のケアは、今後も
大きな問題になりそうです。

秋季彼岸会

去る九月二十三日(土)さわやかな秋空の下、太陽の会「秋季彼岸会・合同供養祭」が午前・午後合わせて一九八名という大変多くの参拝者をお迎えし、本堂にて厳かに勤修されました。午前部では本堂に入れず廊下にお座り頂いた皆様には大変ご不便をお掛け致しました。午前・午後二部制で営まれておりますので来年からは午後の部にも是非ともご参拝下さい。

またこの法要にて当会運営責任者より前僧侶の退会と新僧侶(浄土真宗本願寺派)磯貝寛之(いそがい かんし)氏の交代をご報告させて頂きました。新僧侶の磯貝氏は「会員の皆様へ寄り



添える身近な存在の僧侶でありたいと思えます。仏事のお悩み事など気軽ににご相談をして頂きたい」とあいさつと抱負を述べました。

入院 施設入居の際の身元保証支援

高齢者の方が病院に入院したり、施設等に入居する際に、多くの場合「身元保証人、引受人」が必要になります。様々な事情により、身元保証人等を立てることが出来ないといったケースが増えていきます。こうした問題を解決する立場として、一般社団法人 献身会が身元保証を引き受け、ご家族に替わりサポート致します。ご不明な点ご質問がありましたら、お気軽にご相談ください。



仏教由来の言葉 看病

病人や怪我人を手当てする行為を看病といいます。実は仏教からきた言葉になります。「大言海」には、僧侶の説法、呪法などで病人を癒す事と意味に連なっています。病人が安らかになるよう法を説き、仏さまの光明が行き届くように、患者の為に念仏をしたりしてまいりました。最近「ビハラー」という言葉を良く耳にするようになりましたが、病院では、見放されて治る見込みの少ない患者さんを、様々な苦しみ、死の不安から開放するために、暖かく看病して、最後の一瞬まで精一杯生きることをお手伝いする場所を言います。「ホスピス」は、もともとキリスト教のターミナルケアを行う施設でしたので、仏教徒の多い日本で「ビハラー」を聞くようになったのは、うれしい限りです。

心と身体のバランスは大切ですが、身体が不自由になってしまっても心は安らかに今生での最後をむかえたいものです。



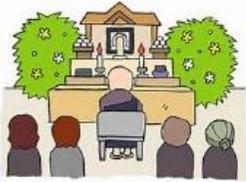
献身会(葦陽薬品株)
TEL 〇一〇一六〇一七〇一七
※太陽の塔桜ヶ丘受付にパンフレットを置いてあります。

教えてお坊さん

▽弔辞について

年を重ねると古くからの友人との今生でのお別れで、突然ご遺族等から弔辞をお願いされることも増えてくると思いますが、故人の生前の社会的活動などによって、儀式で弔意を述べる人の数もかわってきますが、拝読の時間は3分から5分程度でゆつくり読み、600字から1000字くらいの文字数で納めたいものです。

内容は、①故人へのお別れの言葉②生前の業績をたたえ、故人の人格③浄土真宗の門徒さんであるなら念仏者としての決意表明でしめくくるという順序が良いでしょう。故人への思いがこみ上げ言葉が多くなるのが人情ですが、儀式の進行ということも考慮して、なるべく簡潔にまとめることが大切です。ええんと故人の業績を並べ



るだけの弔辞になるのは控えましょう。

「こうしてお別れの言葉を申すのはとてもに人生を歩んできた者として悲しいかぎりです。」といった言葉から始まり、故人の人格や生前の思い出をお話しいただき、「この仏縁を大切に、お浄土でお会いする日まで今生で精進して参ります。」といった決意を最後に述べると良いでしょう。それから、一般的な忌み言葉として「重ね重ね」「再び」「また」「続いて」などの死が連鎖するような言葉は、できるだけ控えた方が良いでしょう。今生でのお別れは、突然やってきます。生前の縁が深かった方の弔辞では、故人の人となり が式に集まった方と共感でき、故人を偲ぶ時間の妨げになるような文面にならないようにしたいものです。

突然の弔辞のお願いに困らず、快く引き受けることができるように簡潔にお話しさせていただきました。少しでもお役に立てる情報となれば幸いです。

合掌

音楽の秋 ～雅楽～

雅楽とは、もともと儒教における「俗楽」に対する言葉で、正当な音楽を意味しています。日本の雅楽は、古くから伝わる日本固有の曲とアジア大陸から伝来した楽器と舞楽が日本化したもの、そしてその影響を受けて新しくできたもので、平安時代に大成した最も古い音楽になります。

日本に伝来した最初のものは、「三韓楽」と呼ばれる朝鮮半島由来の舞と楽曲になります。日本における最も古い記録は、「日本書記」に記されています。「三韓楽」は当初朝鮮半島の特色をとどめていましたがその後、徐々にその特色は薄れ、中国大陸の唐楽と、朝鮮半島の舞曲としてまとまっていきました。当時の楽器は現在の雅楽で用いられる楽器よりも種類が多く、宮内庁が管理する東大寺の正倉院には23種100点にのぼる楽器が収められています。当時の雅楽の音色は現代のものとは、違うようです。

これで安心！終活を今日から始める方法

皆さまこんにちは。特定非営利活動法人エンディングノート普及協会の理事長の赤川なおみです。暑い夏も過ぎようとしていますが、気候の変化に体調を崩してはおられませんか。

前回の「終活初めの一步」は「不動産の相続 その一」でした。不動産の名義は誰かを今一度ご確認していただけたでしょうか。今回も終活を今日から始めるためのワンポイントをお伝えします。

○認知症を正しく知る

9月は世界アルツハイマー月間として各地で認知症の啓発活動が行われています。みなさんにとって「認知症」とはどのようなイメージでしょうか。「何もできなくなる」「本人も家族も困る」というような漠然と不安になつていないでしょうか。しかし、近年では、研究が進み様々なことが解明されるようになりまし。また、認知症当事者と言われる「認知症を診断された本人」の方が声をあげ、「認知症になつても人生は終わらない」と伝えておられます。

私も、先日受けた認知症専門医の勉強会では「長寿と認知症はセット販売ですよ」「年とれば 誰でもなれる 認知症」と笑つて言われる様子に恐れるものではないと再認識しました。

○RUN伴(らんととも)2017福山

に参加しませんか？

恐れるものではないとはいえ、一人では不安ですよ。その不安を解消できるイベント「RUN伴(らんととも)2017福山」が10月21日(土)に福山でも開催されます。北海道から沖縄まで「認知症の人と一緒に、誰もが暮らしやすい地域を創る」ことを伝えながら、今まで認知症の人と接点がなかった地域住民と、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を横断するイベントです。RUN(ラン)とありますが、走つても、歩いてても、車椅子でも参加できます。どうやつて認知症を周りの人に伝えたら



良いのか。どうやつて関わつたら良いのか。普段の生活ではなかなか踏み出せない一步をRUN伴(らんととも)に参加することで踏みだしてみませんか。

今回の始めの一步は「認知症を正しく知る」です。福山市内は10月21日(土)に走りますので、気軽に参加してください！私たちの協会も走りますので、応援団募集中です！

★わからないこと、ご自身に必要な終活を見極めたい方は、終活相談会をご活用ください。

太陽の会 10月5日12月祭祀予定

○合同供養祭及び法座

開催日 10月14日(土) 10時より

○合同供養祭及び法座

開催日 11月18日(土) 10時より

○三原太陽霊園・コスモガーデン三原

合同供養祭「三原」

開催日 10月21日(土) 10時より

※お知らせ

いつもご愛読いただきありがとうございます。この度、玉那覇正念氏は体調不良により太陽の会を退会し、新たに磯貝寛之氏が太陽の会僧侶として着任致しましたことをご報告致します。